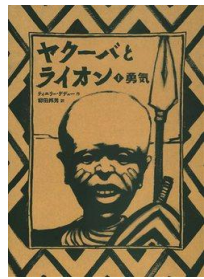


貸し出し絵本 あらすじ集 こぐま組



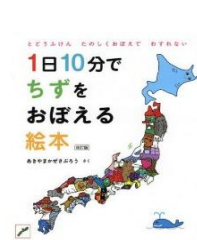
「戦わない」という
勇気。少年ヤクーバ
は、一人前の戦士と
しての勇気を示すた
め、ライオンを倒し
に出かける。しかし
そこで出会ったの
は、瀕死のライオン
だった……。



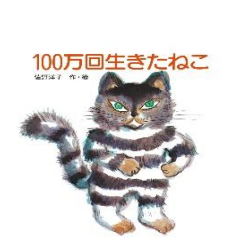
ライオンのボスが、
仲間たちを引きつ
つれ、人間の村へ向か
う。そこには、家畜
を守ろうとする一人
の男がいた。ライオ
ンの男の間に戦いが
始まるが……。



生まれた子どもに
とにかくめでたい名
前をとということで、
和尚さんは、長生き
で縁起のよい名前を
いくつも教えてや
り、その中から選ぶ
ことになりましたが
…！



47都道府県の形
に、動物・乗り物な
どにあてはめて、声
に出して読んでいる
と…あれれ！都道府
県の形、場所、名前
を自然に覚えちゃ
う、ふしぎでゆかい
な絵本です。



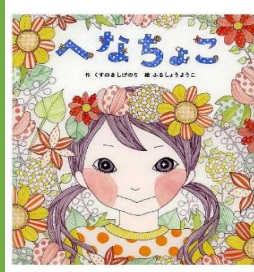
本の中で何度も語ら
れる「100万回生き
た」ねこのそれぞ
れの人生。大きな真
実に気づいてしまう
から。それは一体、幸
せなことだったので
しょうか。



お化け屋敷といわれ
ている屋敷に、少年
4人が探検に出かけ
ました。
ところが、そこは本
当のお化け屋敷で、
少年たちは背筋も凍
るようなこわいこわ
い思いをすることに
なり……。



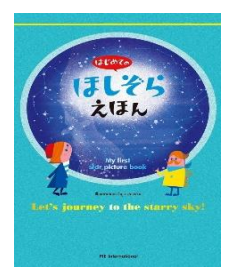
大店のご隠居さんが
引っ越してきたのは
古いお屋敷。「おば
あさん」という名
があるものの、ご隠
居はへいさ。ところ
が、奉公人の困った
ところへ、現れたの
は、一つ目小僧！



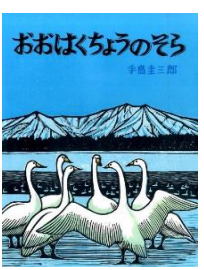
ともちゃんは、水泳
では一番泳ぐことが
できて、徒競走でも
一番。でも、なわと
びだけは苦手なん
です。出来ないとい
うのを、友だちのあ
いちゃんにもいえ
ない。どうして？



さっちゃんの右手に
は指がありません。
なぜ自分の右手には
指がないのか、お母
さんに迫ります。
さっちゃんお腹の中
で怪我をしまって、
どうしても指がで
きなかったのだ
です。



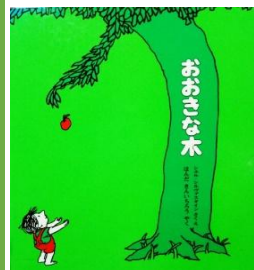
「なんで星って動い
ているの？」「どう
して季節によって、
見える星がちがう
の？」「星ってどの
くらい遠くにある
の？」子どもが抱く
星空のナゾを教えま
す。



病気で空を飛ぶこと
のできない子どもの
ために、北の国に帰
る時期を遅らせてい
た家族。しかし旅立
ちの日は近づいてし
まい、お父さんは子
どもをおいていくこ
とに…。



流水が海岸に押し寄
せる、1月の寒い
日。
お腹をすかせて海辺
までやってきたキタ
ギツネは、流水から
陸にむかって飛ぶ、
しろくろうに出会
います。



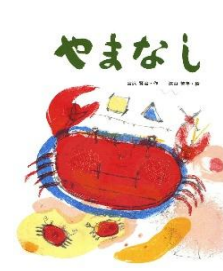
あなたがこの物語
の中に何を感じるか
は、もちろんあなた
の自由です。
それをあえて言葉に
する必要もありません。
物語は人の心を映
す自然の鏡のよう
なものなのです。



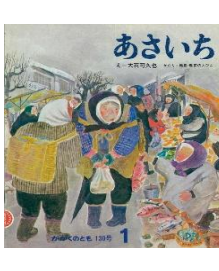
「はしるのがとても
おそい おおかみが
いた。」……走るの
がおそい！
もうこの最初の一文
で驚かされてしま
います。だって、お
おかみの足が遅いな
んて、致命的。



「きょうはなんのひ
だか、しってるの？
……しらなきゃい
だん三だんめ」なん
でしょう、この謎め
いた言葉は。まみこ
が学校へ行くと、お
母さんはすぐに赤い
ひもを結んだ手紙を
見つけます。



小さな谷川の底を写
した淡い幻燈のな
か、耳をすますと、
小さな二匹のかにの
兄弟の、無邪気で可
愛らしい会話がきこ
えてきます。



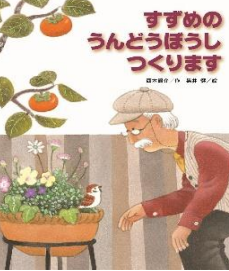
朝市は、海でとれた
もの、畑でとれたも
のを持ちよる商いの
場。令和6年能登半島
地震で大きな被害を
受けた被災地の、一
日も早い復興への願
いを込めて復刊しま
す。



坂の途中にある小さ
なお店、『ネコノテ
パンヤ』。猫の手の
ように小さなパン屋
さんです。お店の中
はいつも、お母さん
の焼いたパンの美味
しいにおいでいっば
い。



今夜は十五夜。朝か
らおかあさんのお手
伝い。「おつきさん
に そなえる おだ
んごをつくるの
よ」
「いそがしい いそ
がしい」とおだんご
を丸めています！



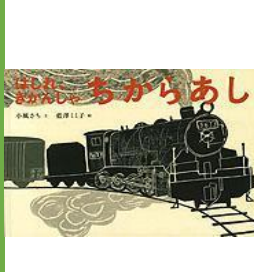
庭で運動会の練習を
しているすずめを見
て、帽子屋さんは、
みんなの帽子を作
ってあげたいと思う
のでした。



寒い寒い冬の夜、か
あさんの羽根にくる
まれて眠っていたす
ずめのぼうやが目
にしたのは、空から
ふわふわ舞い落ちて
くる白いものでした
ー。



「えらく雪がつもつ
たねえ」と一つ目の
青坊主。一つ目小僧
たちは庭そこにやっ
てきたのは、雪女や
雪ん坊、雪童子た
ち。おなじみ「お化
けシリーズ」の第三
弾。



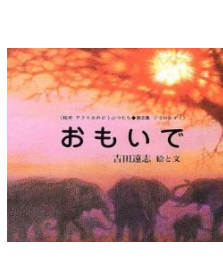
戦争で仲間を失う悲
しみを乗り越え戦後
も大活躍。しかし新
型車の登場で役目を
終えます。ある朝、
機関助手がきて車体
を点検、再出発の日
が！



かまどの中で眠るた
めいつもススだらけ
のかま猫は、「汚な
いから」という理由
で、不当な差別を受
ける。人間の心理を
えぐる寓話物語。



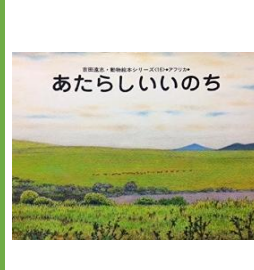
青森県本部は、食育
活動として、オリジ
ナル食育絵本「おに
ぎりのやくそく」を
制作しました。宇宙
人が青森県に住む家
族に出会い一緒にお
にぎりを作って食事
をする物語です。



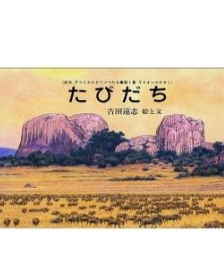
アフリカの草原に1
つの群れを率いる、
物知りで勇敢なひい
おばあさんゾウがい
ました。ライオンに
突進していくほど勇
敢ですが、彼女にも
怖い思い出があり
ます。それは…。



ライオンの兄弟はお
母さんから、狩りを
習うことになりました
。でも、3匹で力を
合せても1匹も獲物
が捕まえられませ
ん。別の日にお父
さんもいっしょに狩
りにでかけると…



群れのリーダーと
なった「学者
ヌー」。群れのなか
にはあかちゃんが
お腹にいる若いメ
スのヌーがいました
が、チーターに襲
われてしまいます。



弟ライオンは水飲
み場で若いメスライ
オンに出会いました
。メスライオンを
忘れない弟ライオン
は、メスライオンの
匂いにひかれ、知
らない土地へと足を
踏み入れてしまい…



乾いた水飲み場しか
ありません。ひいお
ばあさんぞうは力
尽きて助けを求めて
なきました。すると
、幼い頃、兄弟の
ように育てられた
ゾウが前に現れた
のです。

貸し出し絵本 あらすじ集 こぐま組



「タネを一個焼いて食べれば一年間は何も食べなくてもお腹が空くことはない。このタネを一個、地面にうめておくと来年の秋には、かならず実って2個になる。」



赤い帽子と白い帽子と、子ども達。帽子の数と子どもの数が提示され、自分(読者)が被っている帽子の色を推理します。読者は物語(推理)に参加するので。



ぬり方次第で横や縦へと自由自在に伸びる方法がわかる《まほうのくすり》、いろんな三角を重ね合わせて立体をつくる《きれいなさんかく》……



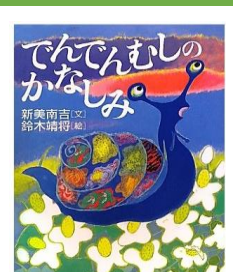
比較することで違いが見えてくる楽しい絵本。同じ積み木を使っても、違う物が出来る。どこに視点をおくかで、同じあって違う物になる……



離れているものをせいくらべする時は? 長さ、重さ、時間など、いろんなものをくらべる時に、どうしたらいいのでしょうか……



どっちが左で、どっちが右? この本を読めば大丈夫! 左右対称に描かれた絵を比べたり、ゲームをまじえて遊びながら、一步一步確かめて進んでいくうちに……



「わたしは いままで、うっかりしていたけれど、わたしのせなかのからなには、かなしみが いっぱいつまっています。いいではないか。」



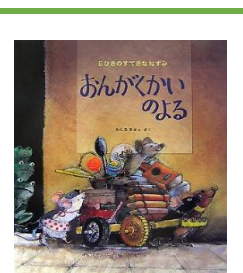
はたを織っていると、あまんじゃくにさらわれ、木にくくりつけられてしまいます。嫁入りの日、あまんじゃくは瓜姫になりすまし、嫁入りのかごに乗っていこうとしますが……



そばがらじさまの捨てた犬を、まめじさまが拾い、大切に育てます。花咲爺のもとになるお話で、大空に灰を蒔いて雁の目つぶしをしてとる「雁とり爺」のお話です。



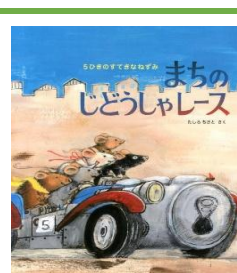
かんたが大きな木の根っこの穴から落ちて訪れた国は、何ともへんてこな世界でした。ももんびやっこ・しっかかもっかか・おたからまんちんと仲良しに……!



ある満月のばん、どこからか聞こえてくる音楽にさそわれて、歩きだした5ひきのねずみたち。かえるたちのすばらしい歌声に感動した5ひきは、ねずみの音楽会を計画しますが……。



おとなりさんが猫をかいはじめ、落ちついて暮らせなくなった5ひきのねずみたち。あたらしい家がなかなかみつからないので、自分たちでたててしまうことに……!



あきかんを利用した手づくりのじどうしゃで、レースにでることになった5ひきのねずみたち。優勝賞品はなんと、「みたこともないくらいおおきなチーズ」です!



白いうさぎと黒いうさぎは、毎日一緒に遊んでいました。黒いうさぎが願っていたのは、白いうさぎといつまでも一緒にいられることでした。それを知った白いうさぎはどうしたのでしょうか?



昔、北国にたくさんいたという雪女のお話。村の男と夫婦になった雪女は、雪女とさたられると、男を凍らせて消えてしまいます。従来の雪女のイメージとはひと味違う、創作昔話。



むかし、ほっぺにでっかいこぶのある、ふたりのじいさまがいた。ひとりのじいさまが山へいくと……。



人間に命を助けられたつるが、自分の羽をぬいて美しい布を織るといふ民話を、淡く美しく描きまします。



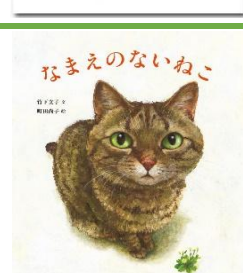
老人があらわれて、ひとつぶのめば子どもがひとり生まれるという小さな丸薬を九つくれました。おばあさんがその丸薬をのむと、ある日とつぜん、九人のあかんぼうが生まれたのです。



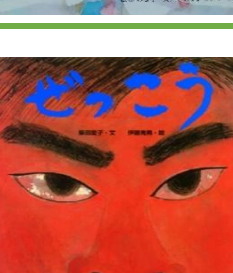
「おにぎり」をつくってみましょう。用意するものは? どうしてあんなに美味しいのでしょうか。ふりかけただけとは違うのは、にぎってあるから? それとも魔法がかかっている?



みそしるっておいしいね! 心もからだもほっとする! ちいちゃくひをつけ、くつくつく。おみそをとかして、できあがり!



1ひきの野良猫は、八百屋や書店、パン屋などの猫が持つ「名前」に憧れている。野良猫が見つけた「ほんとうに欲しかったもの」とは?



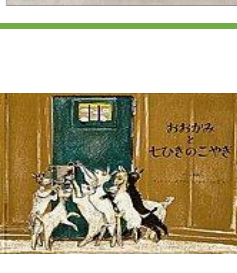
「がく」は「しゅんたろう」と絶交した。しゅんたろうが元気がなくなったってもう遊ばない。子ども同士のにぎりにぎりの関係を描く。



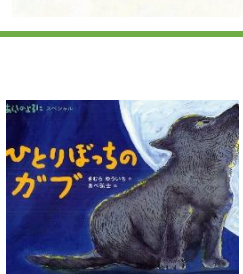
生まれた夜のことをきくのが大好きな養子の女の子と、何もかも正直に話す両親。様々な家族や愛情の形について教えてくれる絵本。



丘の上でよりそって立つ2本の木。その姿に詩人の言葉が共鳴して生まれた写真絵本。木たちの会話が幸せのありがたさを教えてくれる。



お母さんやぎから「絶対に玄関のドアを開けてはいけない」と言われて、留守番をしている七ひきのこやぎたち。そこへおおかみがやってきて……。



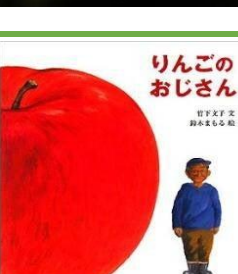
ロングセラー「あらしのよるに」の世界から生まれた絵本。ほんとうにしんじられるともだちがほしい。たたかわなくてもいいともだちが。「あらしのよるに」の主人公、オオカミのガブの生い立ちを描いた、感動の絵本!



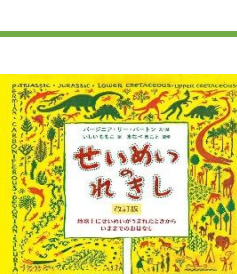
みちにまよってしまったヤギのメイ。うしろからは、たくさんのおオカミが……。 「あらしのよるに」の世界から生まれた絵本「あらしのよるに」の主人公、ヤギのメイが小さかったころのおはなしです。



難しいことはありません。だれだってひとりで生きていくことはできない、みんなともだちが必要なんだ、そういう大切なことは小さな子どもたちにとってきくと伝わるはずですよ。



おじさんのつくるりんごはとびきりおいしいとひょうばんです。不可能といわれた無農薬のりんご栽培にたったひとりで挑戦したおじさんの物語。



地球上に生命が誕生した瞬間から、地上でひとびとの暮らしが営まれている今、この時までのおはなし。主役は三葉虫、頭足類、恐竜から鳥、家畜に人間まで。そして植物たち。長く壮大なこの舞台、心ゆくまでお楽しみください!